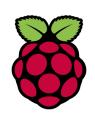
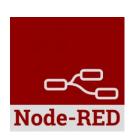
# WLOラズパイ倶楽部 Node-REDでIoTにチャレンジ





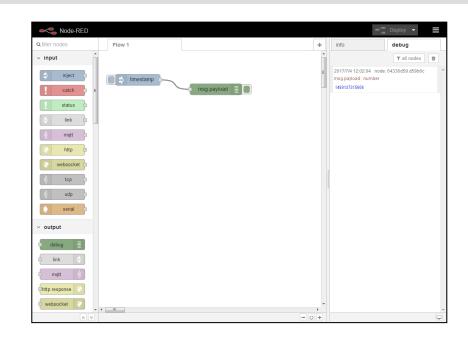
2017年7月27日 (2017年7月28日加筆)



### Node-REDとは: Webベースの統合開発環境

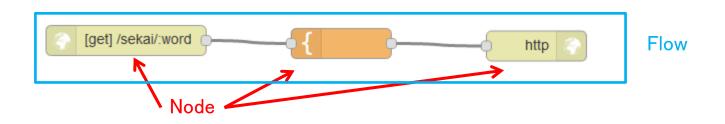
- ・IBMが開発し、JS Foundationに寄贈した「IoT向けプラットフォーム」
  - ライセンスは「Apache 2.0 License」
- ・ブラウザ上で開発/デプロイ

WebブラウザでFlowEditorに アクセスすることで開発を開始。



#### ・ビジュアルプログラミング環境

機能モジュールである「Node」を並べ、接続することで処理の「Flow」を定義。 ブラウザ上の「Deploy」でそのままサーバにデプロイ。 そのまま実行できる。

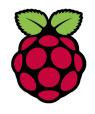




#### •移植性

Node.jsベースで開発されており、さまざまなOS環境で動作する。

#### 組み込み環境









PC/サーバ













#### パブリッククラウド













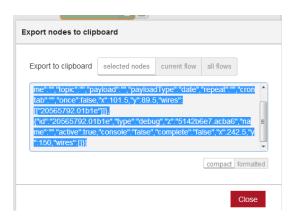


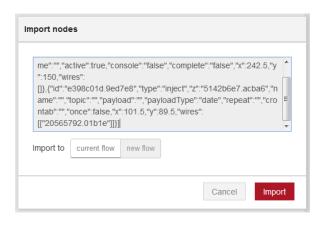
### Node-REDの特徴

#### •再利用性

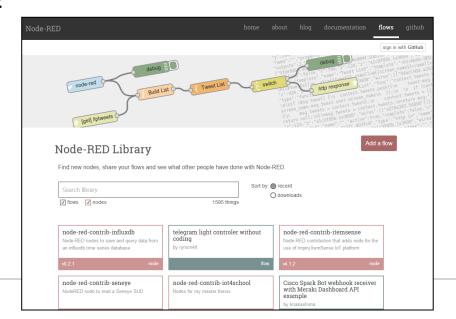
つくったFlowはJSONフォーマットでFlowEditorへExport/Importできる。

⇒他の人がつくったFlowを再利用できる





#### •拡張性



Node-RED Libraryで 公開されている CustomNodeを 取り込むことで、 各種Webサービスや 各社サービスの機能を FlowEditorに組み込むことができる。

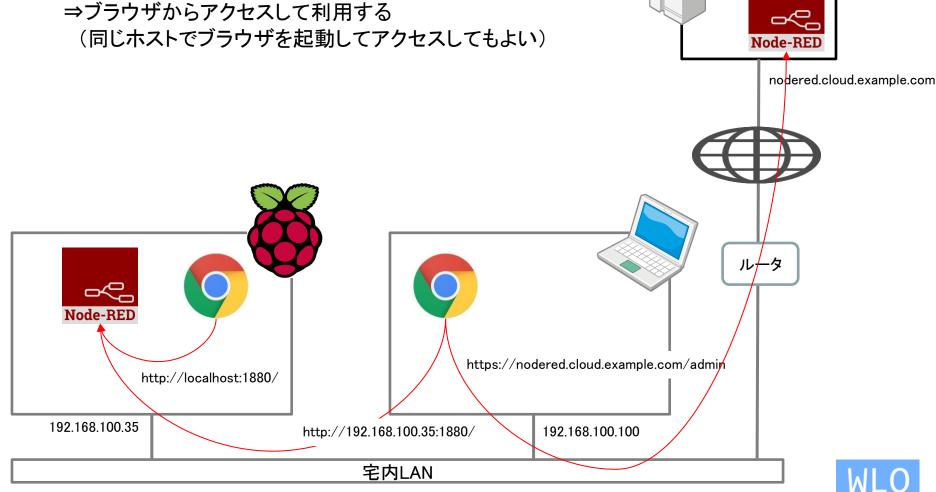


### Node-REDのインストール

#### •Node-REDはサーバソフトウェア

サーバソフトウェア(サービス)としてインストールする

⇒サーバソフトウェアとして起動する(ポート番号は1880)





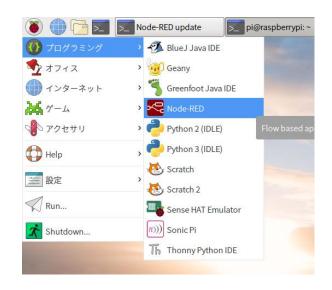
・体験用環境(クラウド環境に導入済み)

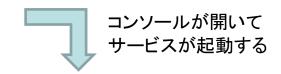
お渡ししたURLにアクセスして、ログインしてお使いください

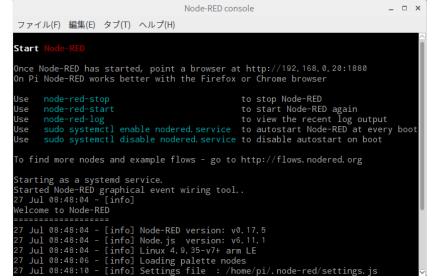


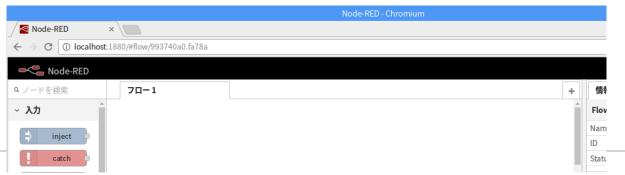
#### Raspberry Piではじめる

Raspbian 2015-11-23版より、Node-REDが標準でインストールされている。













#### ・標準ブラウザ「Chromium」(Chrome)でアクセス

標準ブラウザ「Chromium」だと フォントの設定によっては、 編集時に文字ずれが発生する ⇒Notoフォントがおすすめ

#### ・(参考) Notoフォントの導入スクリプト

- \$ wget https://git.io/wlonoto
- \$ bash wlonoto

https://github.com/WLO-RaspiClub/Node-RED/blob/master/noto.sh





#### ■Raspberry PiにおけるNode-REDの更新

```
ファイル(F) 編集(E) タブ(T) ヘルプ(H)
pi@raspberrypi:  $ update-nodejs-and-nodered
This script will remove any pre-installed versions of node.js and Node-RED
and replace them with node.js 6.x LTS (boron) and the latest Node-RED from Npm.
To do this it runs commands as root - please satisfy yourself that this will
not damage your Pi, or otherwise compromise your configuration.
Doing this may also be 'a bad thing' if you have installed lots of extra nodes.
Especially if they have any native binary component. Some nodes in your
 /.node-red directory will probably need to be re-installed afterwards, some
may need you to run npm update, and some may require you to run npm rebuild.
There may be a period of frustration ahead to get back to where you were...
Are you really, really sure you want to do this ? y
rm: ´/var/log/nodered-install.log'を削除できません:そのようなファイルやディレ
クトリはありません
This can take 20-30 minutes on a Pi 1 - please wait.
  Stop Node-RED
  Remove old version of node. js
  Install node. js for Armv7
                                          Node v6.11.1 Npm 3.10.10
  Clean npm cache
  Install Node-RED core
  Install extra nodes
  Install serialport node
  Npm rebuild existing nodes
  Add menu shortcut
 Update systemd script
 Update update script
Any errors will be logged to /var/log/nodered-install.log
All done.
 You can now start Node-RED with the command node-red-start
 or using the icon under Menu / Programming / Node-RED
  Then point your browser to localhost:1880 or http://{your_pi_ip-address}:1880
Started 2017年 7月 27日 木曜日 08:34:55 JST - Finished 2017年 7月 27日 木
曜日 08:45:12 JST
pi@raspberrypi: 📑 🖡 📗
```

Raspbianで標準サポートされている ミドルウェアが古い場合があり、 そのままでは安定して動作しない。

#### ⇒更新用スクリプト

「update-nodejs-and-nodered」を用いて Node.jsとNode-REDを最新版に更新する (所要時間約12分)

途中で止まると再実行できない

- \$ wget https://git.io/wloup2
- \$ bash wloup2



•Raspberry PiにおけるNode-REDの自動起動設定・解除

自動起動設定

「sudo systemctl enable nodered.service」

自動起動解除

「sudo systemctl disable nodered.service」

Node-REDサービスの再起動

「sudo systemctl restart nodered.service」

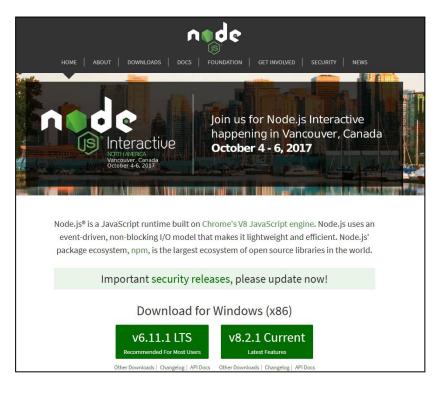


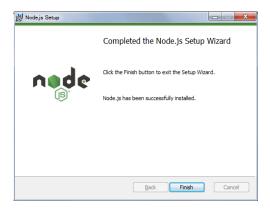
# Node-REDをはじめる: PC (Windows/macOS)

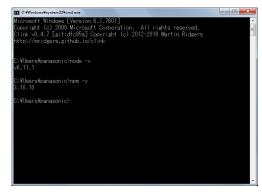
#### ・必要なミドルウェアの導入

Node.jsのLTS(Long Term Support)版をインスト―ラでインストールする (2017/7/27現在 v6.11.1)

標準でnpm 3.xが導入される









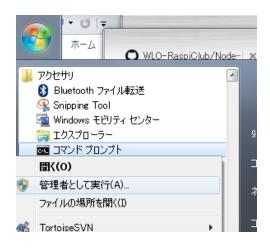


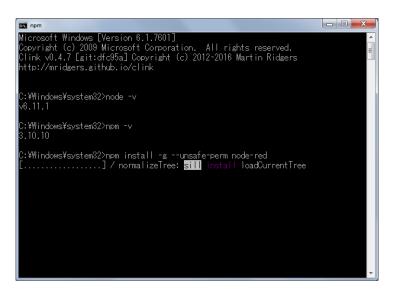
### Node-REDをはじめる: PC (Windows/macOS)

#### •npmでNode-REDの導入

#### 管理者権限が必要

- •Linux/macOSの場合はsudoを使って管理者で「sudo npm install -g --unsafe-perm node-red」
- •Windowsの場合はコマンドプロンプトを「管理者として実行」で「npm install -g --unsafe-perm node-red」





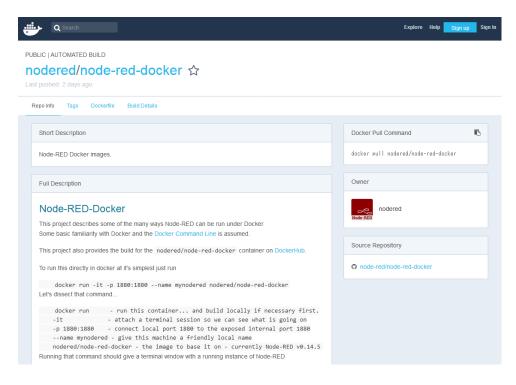
- ・起動は「node-red」
- ・ブラウザで「http://localhost:1880」にアクセスする



### Node-REDをはじめる: クラウド環境

#### ・dockerでの導入

https://hub.docker.com/r/nodered/node-red-docker/

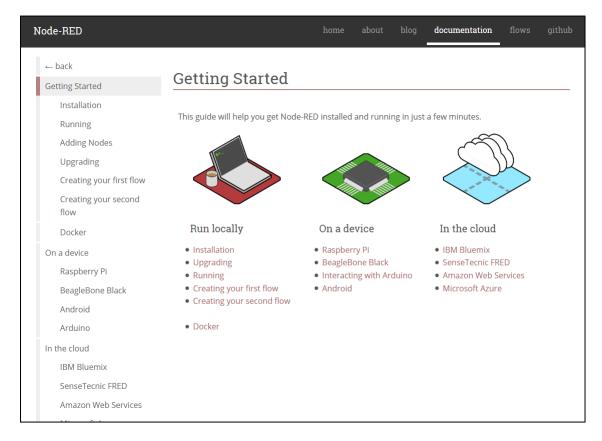




### Node-REDをはじめる: その他の環境

#### •Node-REDサイトのインストール手順を参照

https://nodered.org/docs/getting-started/





◆ 表示

ライブラリ

◆ 読み込み

ノードを検索

ノードの設定

サブフロー

設定

v0.17.5

パレットの管理

ショートカットキーの説明

Node-RED website

### Node-REDをはじめる:参考:日本語化について

#### ・FlowEditorの日本語化

有志によりFlowEditorの日本語化が進められているが、 わかりにくい箇所も多い

デフォルトで導入されているので、 ブラウザの言語設定で自動的に 日本語リソースが使われてしまう。 日本語リソースを削除することによって英語のFlowEditorとなる

Linux/Raspbianの場合
/usr/lib/node\_modules/node-red
配下の
red/api/locales/ja
nodes/core/locales/ja
を削除する

Windowsの場合

C:¥Users¥ユーザ名¥AppData¥Roaming¥npm¥node\_modules¥node-red

配下の

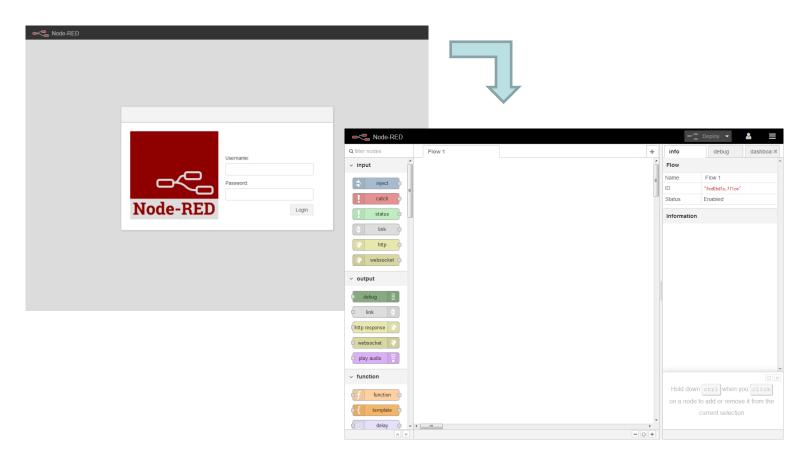
red¥api¥locales¥ja nodes¥core¥locales¥ja

を削除する



### Node-RED FlowEditorにアクセス

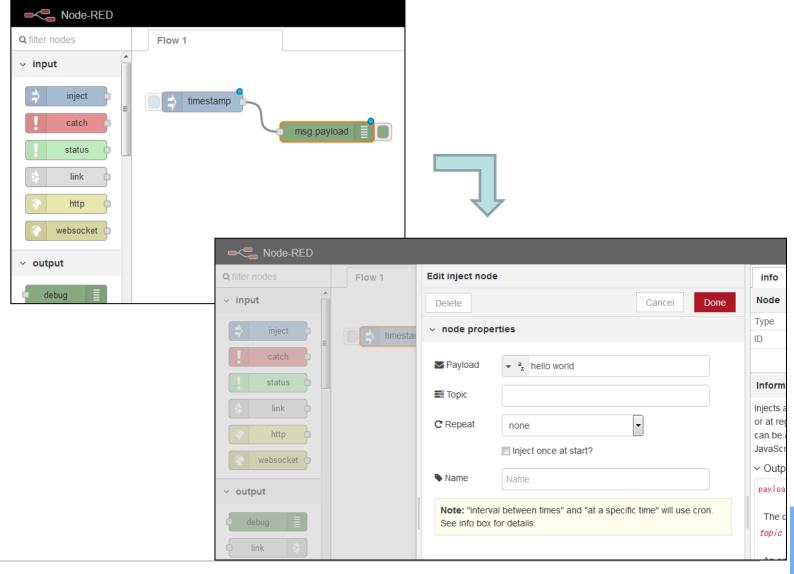
・クラウド環境の場合はログイン画面が表示される(ことが多い)



※自分でインストールした場合でも https://nodered.org/docs/security の要領でsettings.jsに設定することで、ログイン画面を出すことができる



#### ■最初のFlow: Hello World

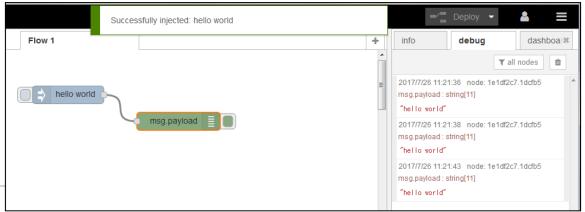




### ■デプロイ⇒実行



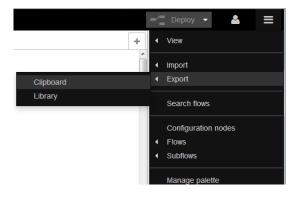




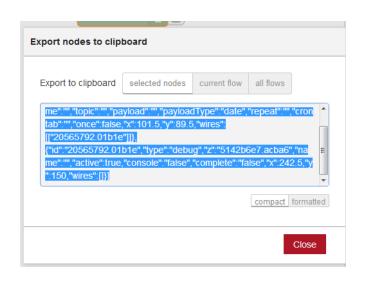


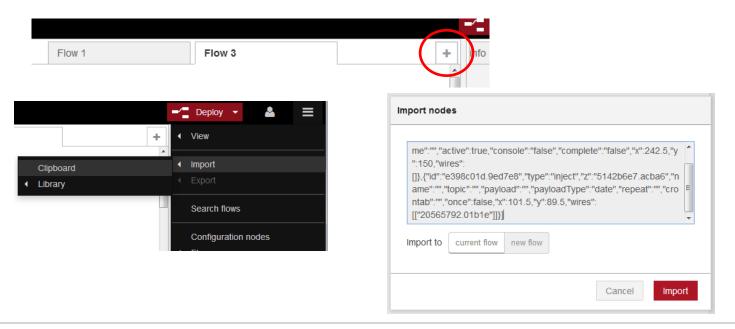
#### ■FlowのExport/Import

Export



Import





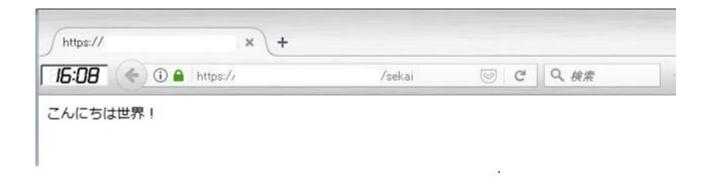


#### ■静的Webページを作成

Edit http in node				
		Cancel	Done	
<b>≅</b> Method	GET		•	
<b>⊘</b> URL	/sekai			
<b>Name</b> Name	Name			







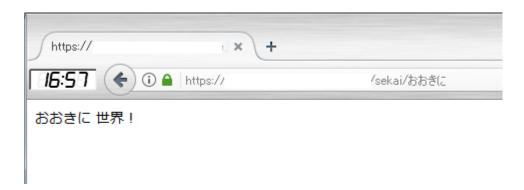


#### ■動的Webページを作成









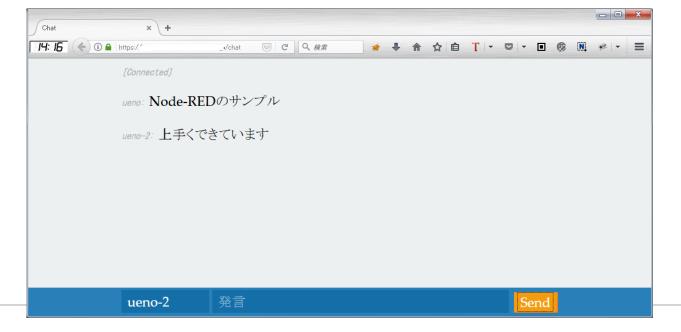


#### ■WebSocketによるWebチャット

https://github.com/WLO-RaspiClub/Node-RED/blob/master/wc.json

https://git.io/wlocwc



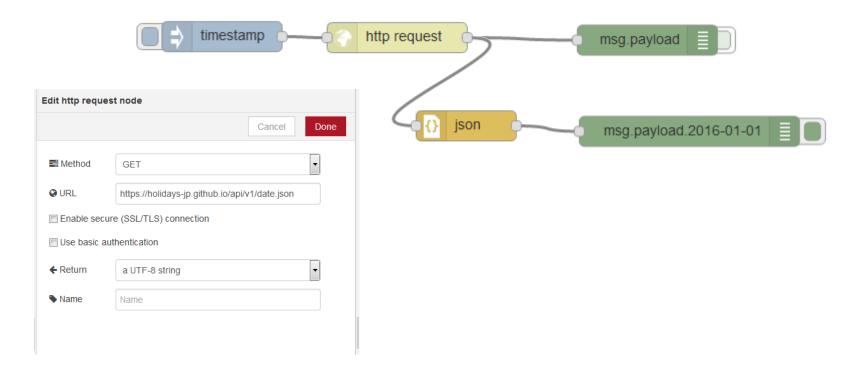


Raspberry Piを LANで試す場合 などは 非SSLなので script template の中の wss:// を ws:// に修正



#### ■外部Webサービスへのアクセス

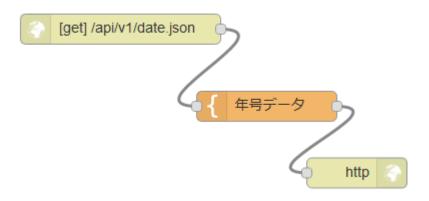
日本の祝日を JSON / CSV 形式で返す API https://holidays-jp.github.io/ (解説) http://qiita.com/matsuoshi/items/7c19e7dcf404b7d921d6



https://github.com/WLO-RaspiClub/Node-RED/blob/master/nengo.json https://git.io/wlonengo



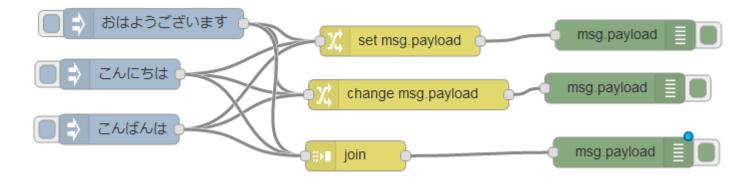
#### ■課題:日本の祝日APIをNode-REDでつくってみる

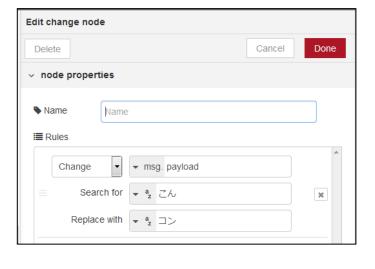


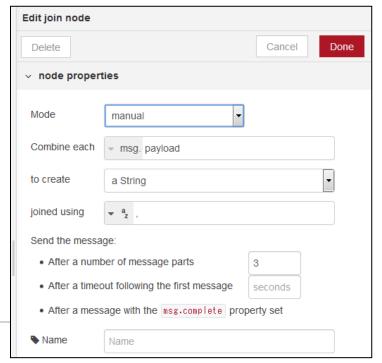
https://github.com/WLO-RaspiClub/Node-RED/blob/master/nengo-service.json

#### ■Flowによるロジック

#### メッセージ変更



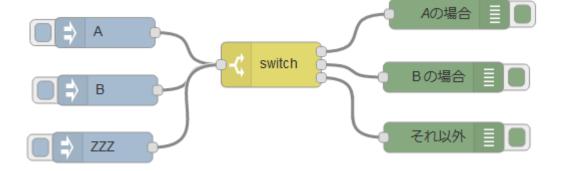


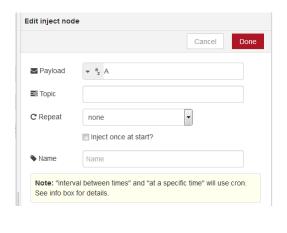




### **■Flowによるロジック**

#### •条件分岐



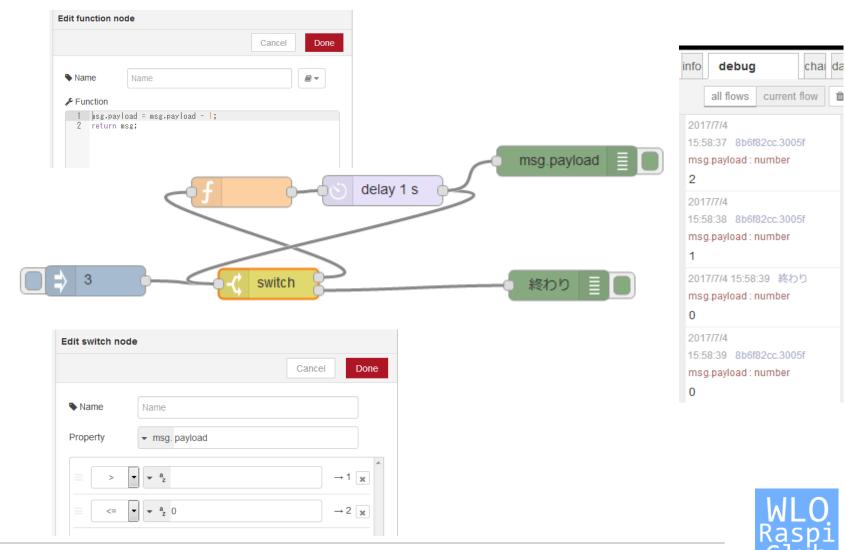


Edit switch node				
	Cancel Done			
Name Name  Property ▼ msg. payload				
== <b>v</b> • a A	→1 x			
== <b>v v a</b> B	→ 2 🔣			
otherwise      ▼	→ 3 🔣			
+ add	Ψ			
checking all rules	_			



### **■Flowによるロジック**

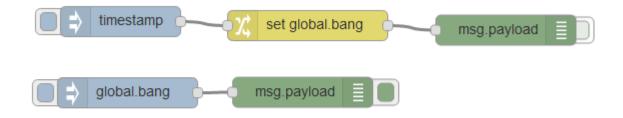
・ループ



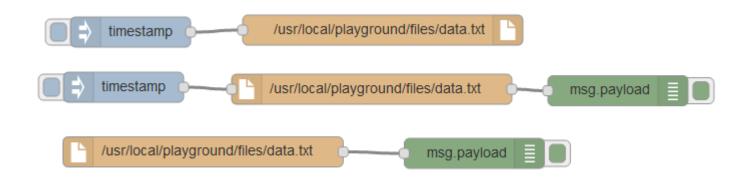
#### ■Flowによるロジック

•永続化

Flow/Global変数



#### ファイル





v input	標準or カスタム		
inject	標準	Flowエディタ操作(クリック)をトリガとしてFlowにメッセージを出力する。 定期送信機能(インターバル/時間指定/期間指定)も持つ。	
		Tab内のJavascript例外を捕らえてFlowにメッセージを出力する。 処理異常時のFlow定義に用いる。	
Tab内のNodeの状態変化を捕らえてFlowにメッセー		Tab内のNodeの状態変化を捕らえてFlowにメッセージを出力する。	
		インターネットからのhttpsのリクエスト(GET/POST/PUT/DELETE) を捕らえてFlowにメッセージを出力する。httpサービスのFlow定義に用いる。Flow中にhttp responseノードが1つ以上必要。	
websocket	標準	インターネットからのwebsocket(wss://)を捕らえてFlowにメッセージを出力する。WebsocketサービスのFlow定義に用いる。Flow中にwebsocket出力ノードが1つ以上必要。	
v output			
debug	標準	Flowからメッセージを受信してdebugサイドバーに出力する。サーバのコンソールに出力することもできる。	
http response		Flowからメッセージを受信してhttpsクライアントにレスポンスを返す。http入力ノードとセットで用いる。	
websocket		Flowからメッセージを受信してWebsocketクライアントにレスポンスを返す。websocket入力ノードとセットで用いる。	



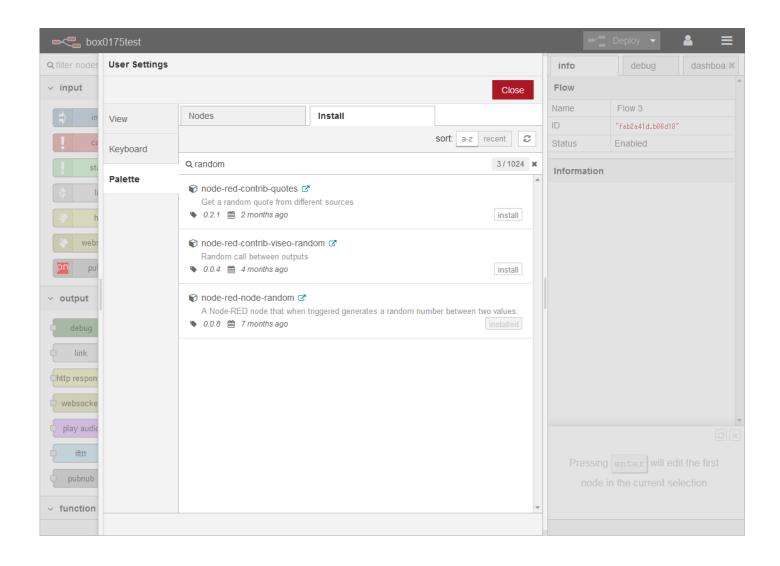
v function	標準or カスタム		
f function	Function Node: Javascriptで自由に処理を記載できるNode。出力を配列にすることにより、よって複数の出力を持つことができる。		
← template     ← template	標準	メッセージのテンプレートを出力するNode。mustache/HTML/JSON/Markdown形式で文法チェックが可能。	
delay	標準	メッセージを遅延出力するNode。遅延量固定/ランダム/最大量指定/平滑化が可能。	
trigger	trigger 2つのメッセージを入力情報/一定時間に応じて出力しわけるするNode。GPIOのトグル出力などにいる。		
comment	ment Flowに注釈を記載するNode。処理には関係しない。		
http request	M部Webサービスにリクエストを行うNode。GET/PUT/POST/PATCH/DELETEメソッドによる が可能で、ヘッダ/ボディのカスタマイズも可能。レスポンスを出力する。		
switch	標準 条件にしたがって出力を分岐するNode。Function Nodeでも記載可能だがより視覚的。		
change	大 change		
range	マスカされた数値メッセージのスケーリングを行うNode。特定の範囲を持つセンサ入力を正規化し上限/下限を設定したりできる。		
csv	csv		
html	標準	HTMLを加工するNode。CSSセレクタを用いてページ情報を文字列だけにしたり整形したりできる。	
json	json JSON文字列をJavascriptのオブジェクトに変換したり、その逆を行うNode。		
xml	標準	xml文字列をxml2jsで解析してオブジェクトに変換したり、その逆を行うNode。 Raspi	

∨ storage	標準or カスタム		
tail •	標準	サーバ上のファイルが追記されたときに追記内容をFlowに出力する。行ごとにメッセージを分けることも可能。	
		ナーバ上のファイルの内容をFlowに出力する。ファイル名をFlowから入力して指定することもできる 行ごとにメッセージを分けることも可能。	
amazon s3	amazon s3 カスタム Amazon S3の特定のBuckets/Folderに変化があればFlowに出力する。Amazon ルを登録する必要がある。		
sqlite 📗	カスタム	サーバ上のSQLiteデータベースファイルを操作する。Flowからの入力で CREATE/INSERT/SELECT/UPDATE/DELETEのSQL文を入力でき、結果をFlowに出力する。	
file	標準 Flowからメッセージを入力して、サーバ上のファイルにメッセージを出力する。		
postgres 📭	カスタム	PostgreSQL データベースに接続してSQLを送信する。	
amazon s3	amazon s3 a カスタム Amazon S3のオブジェクトへメッセージを出力する。 Amazon IAM クレデンシャルをがある。		
amazon s3 a カスタム Amazon S3のオブジェクトを読み込みFlowへ出力する。 Amazon IAM クレデンシャル必要がある。		Amazon S3のオブジェクトを読み込みFlowへ出力する。 Amazon IAM クレデンシャルを登録する必要がある。	
v function			
		連続して入力された数値メッセージの値が変化したときのみ出力するNode。出力条件に範囲指定も可能。数値が変化したときのみ実施するFlowを作成する時などに用いる。	
		WLO Rasp:L	
		Club	

v analysis	標準or カスタム	
sentiment	標準	入力された文字列を英語の文字列とみなして、AFINN-111を用いて感情判定しFlowに出力する。英語のみ有効。
v advanced		
Q watch	標準	サーバ上の指定したフォルダ内のファイルが変更される際にメッセージをFlowに出力する。
feedparse	標準	指定したURLのRSS/atomフィードを定期的に読み込み、新しいエントリが登録されたらFlowに出力する。
v social		
twitter	標準	Twitter APIを用いて、公開ツイート/フォロアーツイート/メンション/DMを取得しFlowに内容を出力するNode。Twitter APIのクレデンシャルが必要。
twitter	標準	Twitter APIを用いて、公開ツイート/フォロアーツイート/メンション/DMを送信するNode。Twitter APIのクレデンシャルが必要。
		WLO Rasp:

# Node-RED Flowをカスタマイズ

### ■CustomNodeの導入





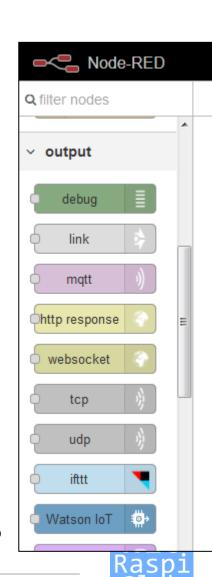
•Custom Nodeの導入

https://flows.nodered.org/node/node-red-contrib-ifttt

#### ハンバーガメニュー⇒Manage Palette、Installタブで「ifttt」で検索

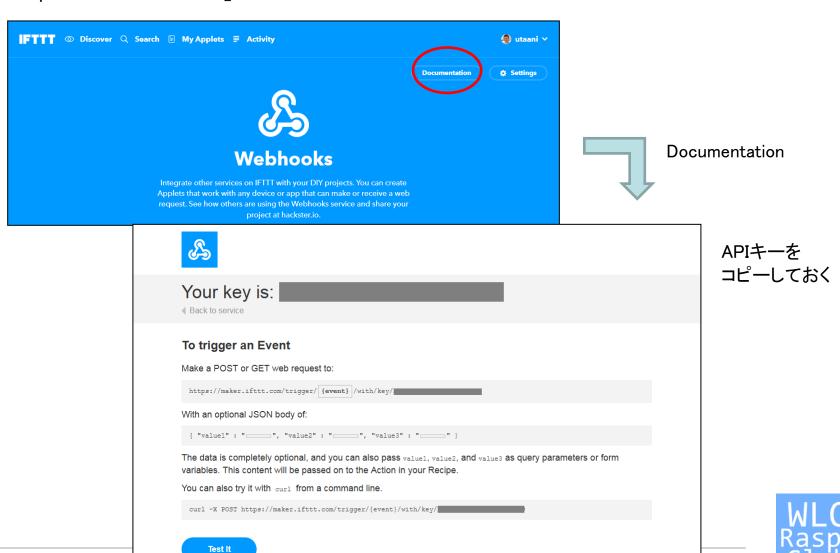
	User Settings			
				Close
	View	Nodes	Install	
	Keyboard			sort: a-z recent
	•	Q ifttt		1/1026
	Palette	node-red-contrib-ifttt		^
		A node-red node to conner  0.0.12  2 weeks ago	ct to ifttt Maker channel	install

インストールできると、Output Nodeの欄に「ifttt」Nodeが表示される



#### ・IFTTTのWebhooksの設定

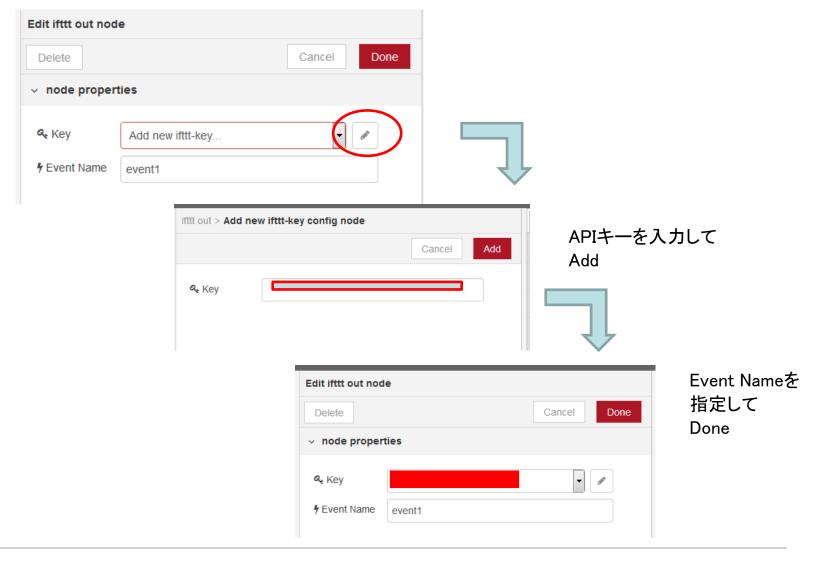
https://ifttt.com/maker\_webhooks



・IFTTT Nodeの設定



Nodeを配置してダブルクリック



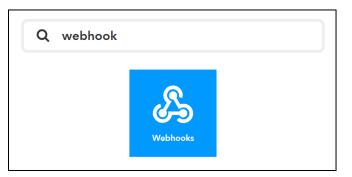


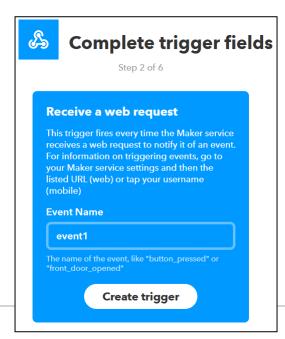
#### •IFTTT Appletの設定

**New Applet** 



# if thisthen that







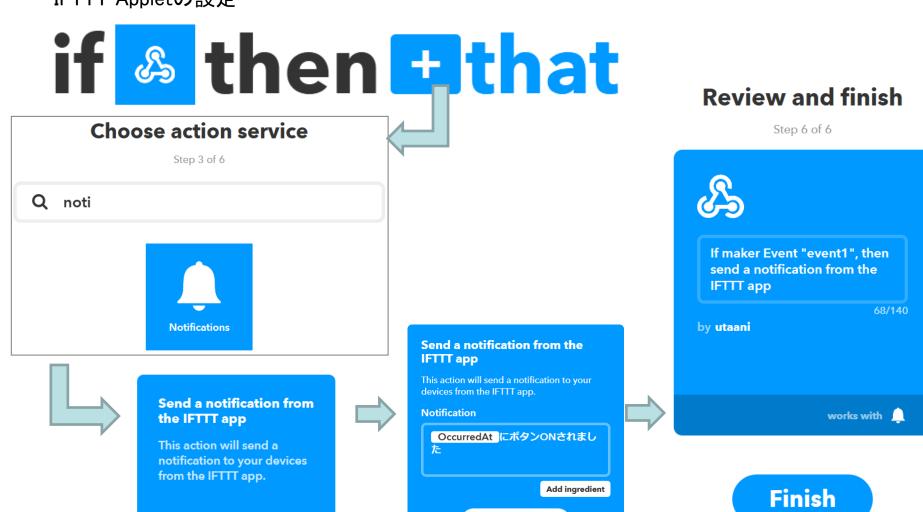
#### Receive a web request

This trigger fires every time the Maker service receives a web request to notify it of an event. For information on triggering events, go to your Maker service settings and then the listed URL (web) or tap your username (mobile)





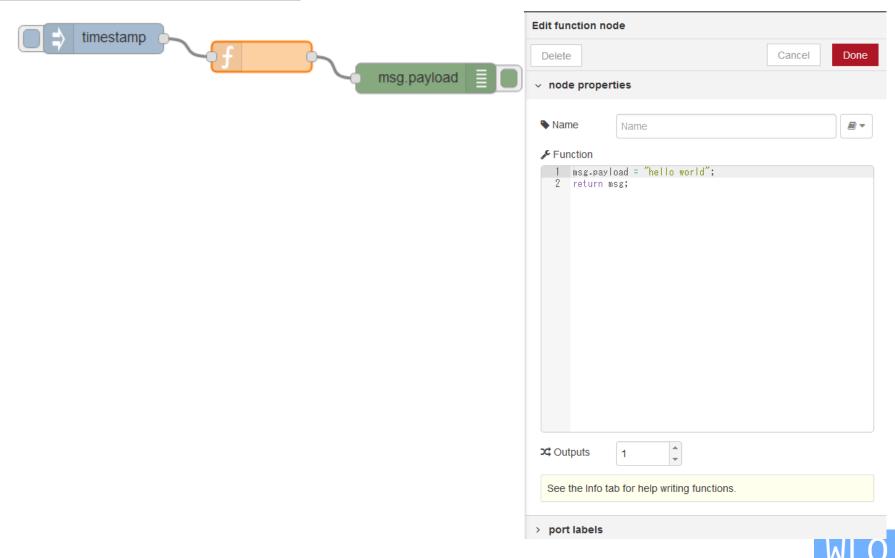
・IFTTT Appletの設定



**Create action** 

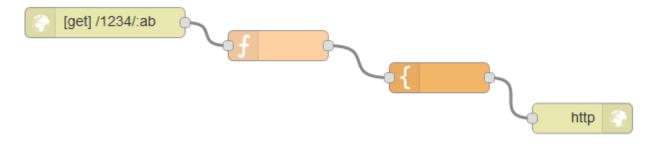
# Node-RED Flow FuntionNodeでJavascriptのロジック

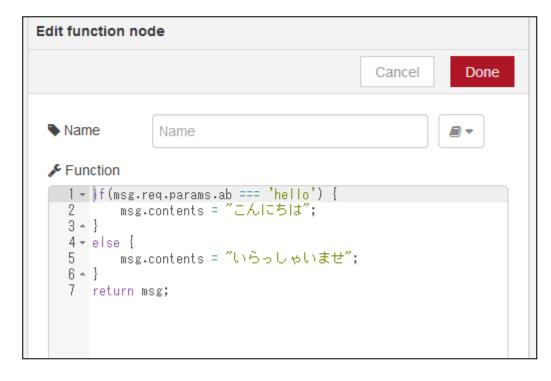
#### ■FunctionNode版Hello World



# Node-RED Flow FuntionNodeでJavascriptのロジック

#### ■FunctionNodeのロジックを記載する



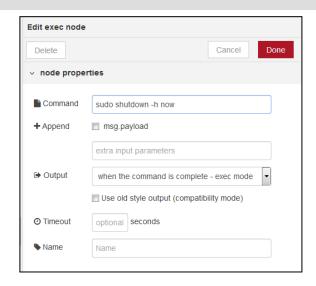




# RaspberryPiでNode-REDをつかってみる

#### •Raspberry Piのシャットダウン







### RaspberryPiでスイッチ入力

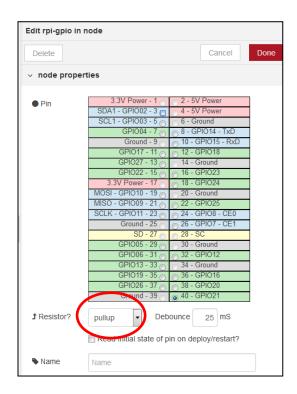
#### •GPIOのスイッチインプット

スイッチを39pin/40pinに接続する



GNDに接続する場合は、Resistor(抵抗器)を Pullupに設定しておく。

⇒普段は1が出力、押されたら0が出力

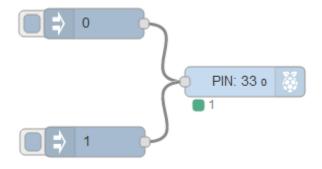




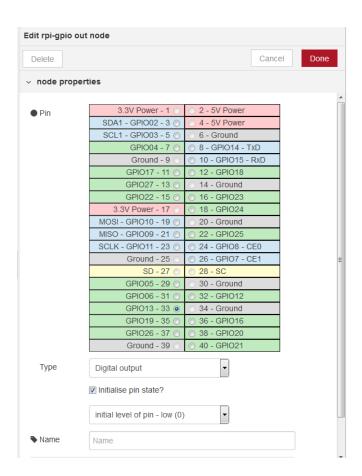
# RaspberryPiでスイッチ入力

#### -GPIOからLED出力

LEDを33pin/34pinに接続する。 (34pin側にLEDの足短いほうを接続)



Numberの0で消灯、1で点灯





### Node-RED 参考情報

https://github.com/WLO-RaspiClub/Node-RED/blob/master/bookmark.md で更新中

Node-REDの配布/解説サイト Node-RED http://nodered.org/ Node-RED documentation Node-REDドキュメント http://nodered.org/docs/ Node-REDのサンプルFlowやカスタムNode配布サイト Node-RED Library http://flows.nodered.org/ Github: node-red/node-red Node-RED Githubリポジトリ https://github.com/node-red/node-red GoogleGroup:Node-RED Node-RED 公式MailingList/Googlegroup https://groups.google.com/forum/#!forum/node-red sence technic社による解説ページ Node-RED Programming Guide http://noderedguide.com/ Qiitaは、プログラミングに関する知識を記録・共有するためのサービスです。 Qiita: tag:node-red http://qiita.com/tags/node-red 2015年末に開催された Node-REDの情報を集めたアドベントカレンダー Node-RED Advent Calendar 2015 http://giita.com/advent-calendar/2015/nodered 2016年末に開催された Node-REDの情報を集めたアドベントカレンダー Node-RED Advent Calendar 2016 http://qiita.com/advent-calendar/2016/nodered 日本のユーザーグループ(登録制) Node-RED User Group Japan

IBM developerWorks

https://www.facebook.com/groups/noderedjp/

http://www.ibm.com/developerworks/jp/views/cloud/libraryview.jsp?sort\_by=&search\_by=noc